

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	越生町	代表者名	新井康之		
担当者部署	企画財政課	連絡先電話番号	0492923121		
担当者役職	主査	担当者氏名	清水慧介	連絡先E-mail	*****
住所	350-0494 埼玉県越生町900-2				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DXの基本的な考え方については、デジタル化主体ではなくXの進め方が重要ということを変更して委員間で共有できた。データ活用については、データ分析のポイントや操作画面も交えて視覚的にデータ分析に興味を持つように講演いただき、現在行っているDXの取組の必要性について学ぶことができた。
アドバイザーへの要望事項	なし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月27日	支援・助言	有	令和5年6月2日	687
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年7月14日	講演	10時00分	11時30分	0
				活動時間（分）	90

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	庁内DX推進委員	13人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXについて、昨年度より業務改善の取組を進めているが、進捗にバラツキがある。これは、完成形（目標）の明確化、機運醸成、組織体制などの課題が考えられる。また、今後進めていきたい取組について、職員負担が重くなる場所があり、どの程度まで進めるか、方向性を変えるべきか判断に迷っている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	現在行っているDXの取組（データ整理等）について、必要性を認識し、機運醸成を図る。また、データ整理等が完了した後の、利活用についても手法や事例を学ぶことで、委員会において先を意識した取組を進める。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	庁内DX推進委員に対して、①DXの基本的な考え方、②デジタル技術を使うメリット、③課題・データ分析の考え方、④データ分析ツール、⑤データの種類や基本的な作り方の注意点、について講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	昨年度よりデータ整理等について取組を進めており、庁内DX推進委員会で進捗確認や修正を行っていただくため、推進委員には取組の目的や必要性について共通意識を持たなければならない。本講演をとおして、DXの考え方やデータ利活用について学ぶことで、委員の意識向上につながった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前アンケートでは、DX推進の課題について、「業務量が多く取り組みできる時間が無い」という委員の意見が多かった。講演会后アンケートでは、DX推進の取組の重要性については「認識できた」という意見が多かった。取組の重要性は認識しつつも、取組ができていないということで、取組	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	現在の業務改善の取組方法について、よりよい進め方を検討する。 組織的に、DX推進は時間があればやるものではなく業務の1つとして実施できる状態にする。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

